

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和 4年 11月 25日

和泉市長 あて

団体名 四季の味覚祭実行委員会

代表者名 中野幹夫

所在地 和泉市仏並町 398-1
道の駅いずみ山愛の里

電話番号 0725-92-3888

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	四季の味覚祭 ～地産地消推進 地域活性化事業～
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	_____ 1,070,000円 (うち、対象経費 _____ 1,070,000円)
支援金 交付申請額	_____ 535,000円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(はい ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	シキノミカクサイジッコウインカイ		
団体名	四季の味覚祭実行委員会		
団体の目的	和泉市南部地域の活性化 農業商業の振興に寄与すること。		
市内事務所の所在地	〒594-1136 和泉市仏並町 398-1 道の駅いずみ山愛の里(直売所)		
	【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ <input checked="" type="checkbox"/> その他（道の駅・事務所）】		
	電 話	0725 (92) 3888	F A X 0725 (92) 3880
フリガナ	ナカノ ミキオ		
代表者氏名	中野 幹夫		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※		電 話 0725 (92) 3888
	フリガナ	●●●●●●	F A X 0725 (92) 3880
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	平成24年4月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	無	会員数	220 人
メールアドレス	無		
ホームページ	無		
主な事業内容	和泉市南部地域の活性化・農業商工の振興を図るために、四季折々の農産物に親しみ、人々が集い楽しめる機会として「四季の味覚祭」を開催する。		
主な活動の実績	春季、夏季、秋季、冬季イベントの実施。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	R1	ちよいず	127,810
	R2	同	157,876
	R3	市民活動推進支援事業	535,000
	R4	同	535,000

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	四季の味覚祭 ～地産地消推進 地域活性化事業～
2 申請コース	<input type="checkbox"/> (1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース <input type="checkbox"/> (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等	
<p>和泉市南部地域における高齢化、過疎化が進む中、地域のコミュニティ維持が望まれる。活性化策として、和泉市の特産品である農産物や加工品等を広くPRする場、イベントが必要である。</p>	
②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果	
<p>団体・参加者・地域全体のメリット等、イベントを通じて南部地域住民のコミュニティづくりと和泉市の特産品（みかんやたけのこ等）のPRを行い、農業、商工業振興の一助とする。</p>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。	
<p>年4回実施。その季節の特産物のPR及び販売を中心にする。和泉の農産物、加工品の魅力を幅広い層に訴求するため、一般市民が楽しめる「お楽しみコンテンツ」も盛り込む。（例：地元農産物を使った焼き芋、ポン菓子の販売、木工工作の体験、和泉市にゆかりのある芸能人（紅しょうがや土肥ポン太など）を起用したイベントなど）四季を通じてのイベントを開催することで、地域住民の心のふれあい、助け合いの精神を浸透させる。また、農業・商工業の発展につなげる</p>	
② 実施期間（日時）	4月、7月、12月、2月に開催予定。最も集客が期待できる日・祝に実施する。具体的な日程については、その都度調整する。
③ 実施場所	和泉市南部リージョンセンター及び、道の駅いずみ山愛の里エリア
④ 主な対象者	和泉市民を中心に、道の駅来場者、観光客など幅広い層を対象とする。
⑤ 参加予定者数	開催1日あたり約2500人
⑥ 告知方法	告知ポスター、チラシ、市の広報媒体（広報誌やWEB等） 道の駅いずみ山愛の里WEBサイト、及びインスタグラム等のSNS

5 事業スケジュール	
次期（月）	<p>内容</p> <p>4月：春の味覚采 7月：夏の味覚祭 12月：冬の味覚祭 2月：2月の味覚祭</p> <p>各回とも、季節の農産物・加工品を中心とした和泉市特産品をPR・販売するとともに、集客・販わい創出の為、お客様をおもてなしするイベント（地場産品を景品としたオークション、ビンゴ大会、出店等）を企画。</p>
<p>6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 （実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）</p>	
① 公益性	<p>和泉市の南部地域を活性化していくためには、和泉市産の農産物の良さを多くの方々に知って頂くことが大切であるとともに、休日のひととき、様々なコンテンツで楽しみながら、和泉市民を中心に、道の駅利用者、一般客など幅広い層が和泉の野菜、果物に触れることができる機会をつくることも非常に大切だと考えています。</p>
② 継続性	<p>四季の味覚祭はこれまでも「ちょいず」「市民活動推進支援事業」の支援を受けながら継続的に実施してきました。和泉市産の農産物のPRをするとともに、地元のコミュニティ促進にも寄与したいと考えており、今後も引き続き実施していきたいと思っております。本事業に参加した人を通じて、和泉市産の農産物の魅力が知れ渡っていくと考えています。実行委員会からも毎回経費を捻出しており、安定的な運営を行っています。</p>
② 実行性	<p>これまでの継続的な実施により、運営体制は確立されています。費用に関しては、イベント会社等に発注するのではなく、手づくりで「ネタ」を持ち寄ってつくっており、毎回実行委員会のメンバーが積極的に参加して実施しています。</p>
③ 協働性	<p>単なる「地元の名産市」ではなく、参加型のコンテンツなども組み込んで実施することにより、より多くの方々に参加頂ける様工夫していきます。まだまだ発展途上ですが、市内の関連団体（直売所、青年会議所、和泉テクノFC、アグリセンター、市役所の関連部門など）との連携も図っていきたくと考えています。</p>
⑤ 公開性	<p>毎回、事前告知として道の駅へのポスター掲示、チラシ配布、WEB及びインスタグラム等のSNSで広報活動を行っています。市の広報誌にも掲載頂いています。また、道の駅のインスタグラムフォロワーは900人近くあり、費用対効果の高い情報発信を行っています。</p>
⑥ 発展性 （先駆性・ 展開性） （集客性）	<p>道の駅いずみ山愛の里の出荷協力会を中心として、地元の農業従事者、地場産品の生産者と協力し、和泉市産の特産物を広くたくさんの人にPRしていく定例イベントとして、更なる盛り上がり創出していきたいと考えています。</p>

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第7条・第15条関係）

収支予算書

事業の名称：四季の味覚祭 ～地産地消推進 地域活性化事業～

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	535,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入		
自主財源	535,000	団体会計より
合 計	1,070,000	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	440,000	芸人出演報償費（2組）
消耗品費	230,000	屋台・イベント用おもちゃ、試食・飲食材料代
食料費	10,000	スタッフ作業時飲料代（200円×25人×2回）
印刷製本費	150,000	チラシ、ポスター印刷代
役務費	20,000	クリーニング代・配達手数料等
委託料	220,000	警備員の配置 1日2名5万円×4回分
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合 計	1,070,000	
対象経費	1,070,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。